

丹羽文部科学副大臣による土曜学習会



土曜学習会で教壇に立つ丹羽副大臣

5月30日(土)、丹羽文部科学副大臣が愛知県の春日井市立勝川小学校で、小学生約110人を前に、オリンピック・パラリンピック教育をテーマとした土曜日学習会を行いました。

初めに、副大臣がオリンピック・パラリンピックの歴史等についてスライドを使いながら話しました。副大臣からオリンピックにまつわるクイズを出され、子供たちは手を上げて答えるなど熱心に参加していました。

その後、パラリンピアンを含むウィルチェアーラグビー選手9人の方々による模擬試合を行いました。

車いす同士が「ガツン」と激しくぶつかり合う音に、児童からは驚きの声があがるなど、息詰まる熱戦を観戦していました。

さらに、子供たちは、競技用車いすの操作や試合体験を通じて、選手のアスリートとしてのすごさを実感し、オリンピック・パラリンピックを学ぶ良い機会となりました。



パラリンピアンによる
ウィルチェアーラグビー試合の様子



子供たちが競技用車いすの体験を行う際に補助をする丹羽副大臣

学習会の最後に副大臣から、「パラリンピックも含めた様々なスポーツに興味をもってほしい」と発言されていました。

その後、学校・地域関係者との意見交換において、「丹羽副大臣の学習会を皮切りに開始された土曜チャレンジ・アップ教室を推進し、地域の人材・大学・企業等と連携を図りながら土曜日の教育環境の充実を図っていきたい」との声が上がっていました。

丹羽副大臣からも、「学校だけでなく、地域社会とも協力を得ながら、子供たちが豊かな土曜日を過ごせるよう工夫してまいりたい」と発言されました。



子供たちに障がい者スポーツの大切さを伝える丹羽副大臣



関係者との意見交換会

